

## 新潟県納税貯蓄組合総連合会長賞 優秀

# 税は感謝〜今ある生活の再確認〜

長岡市立青葉台中学校

一年 宮下 月希

五つ買いたいののに、何故いつも五百円で買えないの？私の生まれた時からあった消費税。もうじき八パーセントから十パーセントにまた上がる。私はまだ自分でお金を稼ぐことが出来ないで、欲しい物は、おこづかいから買うしかない。少ないそのお金の中で八〜十パーセントに上がる税。たった二パーセントしか違わないけれど、とても大きい。しかし私は、税って自分の身の周りにすごく助けてもらっていると知った三年前から親より税に感謝することがあった。

三年前、父が救急車で運ばれた。かなりの距離から病院へ運ばれたがお金が一円もかかっていないと知った。私はふとこの時に疑問に思った。この運んでくれた運賃はどこから支払われているのか。それが税金からだと言った時、命を救う為にお世話になり感謝しているのに車代まで無料。この無料こそが税金で担っているのだから税金は大切なお金で支払うことがいかに自分が守っているのかということがわかった。

今私は医療費助成により病院にかかれる。レントゲンを普通に撮れば一万円位かかる。でも私は、良く足を痛め医者にかかることがあるが、そのつど撮影されるレントゲンも診察も五百

三十円で、診察してもらえるのだ。何も考えず生活している私の生活。どれだけ生活を支えてもらっているかわからないほど生活を助けてもらっているのだ。当たり前のように通っている学校や設備・授業で使う教科書の税金を払ってくれている人がいるからこそ、自分は勉強させてもらえる環境の中で教材を与えてもらっているかを考えた時に、「なんて幸せな環境に自分はいらぬだろう。」と税のイメージは悪いものではないという考えに変わった。

どんな事でも、あって当たり前になると物の大切さ、良し悪しがわからなくなる。でも一人一人の意識として何の為に存在するのかを考えると感謝しなければいけない。私は今多くの大人に助けられていることを忘れては、いけないと思う。

私もいずれ大人になる。おこづかいから買う税よりもっと多くの税金を支払う未来が来る。でも税は何に使われているか知れてから払う税の支払いは苦にならないと思う。自分が元気にそして当たり前のように生活させてもらえてきた私達より上の世代の税により自分が暮らせてきたのだから今度は自分が自分より下の世代に幸せを届ける。それが税であるのだ。

もしも税金がなくなったらどんな生活になるのか考えて見る大切さ。健康、安心、平等な社会がこれからも続くように、私たち一人一人が納税の義務を理解する必要があるのだ。

当たり前前の暮らしが当たり前でなく税のおかげで今があるを認識して今教育が受けられている今に感謝してもっと税をよりよく知り明日の安全な暮らしを未来のために私も貢献出来る人になりたい。